



精神障がいつていつのは？



A. こころの病、とも呼ばれているよ。

精神障がいのある人、いつのは**障害者基本法**によると「精神障害(発達障害を含む。)」がある者であつて、障害及び社会的障壁により継続的に日常生活または社会生活に相当な制限を受ける状態にあるもの」と定義されているんだ。
主に行政サービスにおいて使われている言葉だね。

より医学的に言うると精神疾患、いつ呼びかたになるよ。
脳の障がいや損傷などによる働きの変化が原因で、感情や行動に著しい偏りが見られる状態、なんだ。
統合失調症やうつ病など、いろいろな病気の総称として使われているよ。

脳の働きの変化、には外因性・心因性・内因性の大きく3つあるとされているよ。
神経間の情報伝達が何らかの原因によってうまくいつていない状態、になることで引き起こされる、と考えられているよ。

外因性いつのは、外傷や疾患、薬物やアルコールなど精神作用物質などの、はっきりした理由で脳神経の働きが阻害されている状態のものだね。
高次脳機能障がいがそうだね。
原因として、脳挫傷や感染症があげられるよ。

心因性といわれるものは、心理的ストレスが原因で症状が出るものことだよ。
急性ストレス障がい・心的外傷後ストレス障がい(PDSD)などのストレス反応や適応障害・パニック障がい・強迫性障がいなどの神経症といわれるものがこれだね。

内因性いつのは、原因がはっきりしないのに精神症状がみられるものことだね。
主なものには、統合失調症・気分障害(うつ病・そう病・双極性障がい)などがあるよ。
統合失調症はドーパミン、うつ病ではセロトニンやノルアドレナリンいつた脳内神経物質の分泌が症状に深くかかわっているのではないかとされているんだ。
この内因性疾患だけを指して、精神障がいや精神疾患と定義することもあるよ。

気分障がい(うつ病・そう病など)や統合失調症などの精神疾患では、幻覚や妄想、イライラ感や不安、ゆううつ感、不眠などが症状として現れてくるんだ。
これらの症状は服薬したり環境が安定すると軽くなっていくよ。
一方、目に見えない倦怠感や疲れやすさ、やる気が起きないいつた症状から、怠けていると誤解を受けることもあるようだよ。

怠けている、意志が弱いという訳ではなく、これは「陰性症状」と呼ばれるものだね。
これらの症状は、疾患が落ち着いてくる過程の中で認められるものだよ。
これが「精神障がい」と言われているものなんだよ。

「がんばれ」や「早く」といった言葉は、過剰なストレスになることがあるよ。
なにか指示を出すときには「具体的」「はっきり」「簡潔」ということが大切になってくるし、時間をかけることも必要になってくるんだ。
「がんばってるね」と気持ちや努力に寄り添った声かけが良いみたいだね。

精神疾患では、服薬がとても大切なんだ。
薬を勝手に中断したり、たくさんのストレスがかかったままにしていると再発してしまうことがあるよ。
寝られなくなったり急に活動的になったり、は要注意のサインで、無理をやめてゆっくりしようというサインでもあるんだ。

障がいや疾患に対する正しい知識というものが大切で、不必要に恐れすぎないことが必要になってくる。
本人が気が付いていない場合は、周りの人の協力が必要なときもあるよ。
共に支え合える、理解や配慮がある環境は大事だね。

[《MENU》](#)

[《「児童福祉事業」って？](#)

[契約内容報告書ってなに？》](#)

2022-03-14 掲載